

海外農業農村開発地球温暖化対策検討調査（新規）

【240（0）百万円】

対策のポイント

開発途上国において、農業農村への影響が懸念されている地球温暖化に対して、気象変動等による灌漑排水施設への影響や適応策などを検討します。

（地球温暖化に対する国際貢献）

人口増加などにより食料需給の逼迫が見込まれ、更に地球温暖化による食料生産への影響が懸念されるなか、開発途上国において地球温暖化は、栄養不足に直面している貧困層の人々に大きな影響を与えられと考えられます。このような問題に対応するため、農業農村分野において、これまで蓄積した技術や知見などを活用して、地球温暖化問題に積極的に貢献していきます。

政策目標

我が国へも影響が顕在化してきている地球温暖化や砂漠化、水問題、森林減少等の地球規模での環境問題や越境性疾病への対応
農林水産行政を推進する中で構築された専門的知見を活用した技術開発、基礎的調査、技術交流などによる国際貢献

< 内容 >

1．灌漑施設温暖化適応策検討調査

開発途上国において、地球温暖化による気象変動などの変化が灌漑排水施設に与える影響を分析します。

モデル地区での影響を把握し、実践可能な適応策と推進方策を検討します。

2．農地塩害対策調査

乾燥地帯の開発途上国において、塩害の被害状況などについて現状を把握し、営農体系の検討やそれを踏まえた灌漑排水管理の改善手法などを検討します。

モデル地区で手法を実践、検証・分析を行い、塩害対策のための灌漑排水水管理技術や手法を確立します。

3．農村防災体制強化対策調査

開発途上国において、干ばつや洪水など気象変動による災害に対して、その被害を軽減していくための農村コミュニティの適応能力の向上手法を検討します。

< 事業実施主体等 >

- 1．事業実施主体 民間団体
- 2．補助率 定額
- 3．事業実施期間 平成20年度～平成24年度

[担当課：農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室（03 - 3595 - 6339（直））]